

# 笠原川

## 〜ガサガサ探険〜 MAP



土岐川



笠原川



脇之島小学校  
4年1組1番 青木 すみれ

## ◎なぜ笠原川MAPを作ったのか？

私は、土岐川観覧館のイベントで「ガサガサ探検」にたくさんさん加してきました。

同じ笠原川で場所によって住んでいる生き物が変わるのか、知りたくなりました。

土岐川観覧館の山本館長さんにおすすめの場所を4つ教えてもらって調べてマップを作りました。

## ◎どんなふうにしてマップを作ったのか？

笠原川の4つのポイントで「ガサガサ」を2回ずつ行うタモを使って魚、水生昆虫をつかまえる。

虫や鳥、植物を観察する。

つかまえた生き物を1匹ずつ写真をとる。

その後、名前や持ちょうを言調べて場所ごとにまとめる。

## ◎使用した物

1. タモアミ 4. カメラ

2. バケツ 5. 長そで長ズボン

3. 小さい入れ物 6. さつえいの時使う白い板

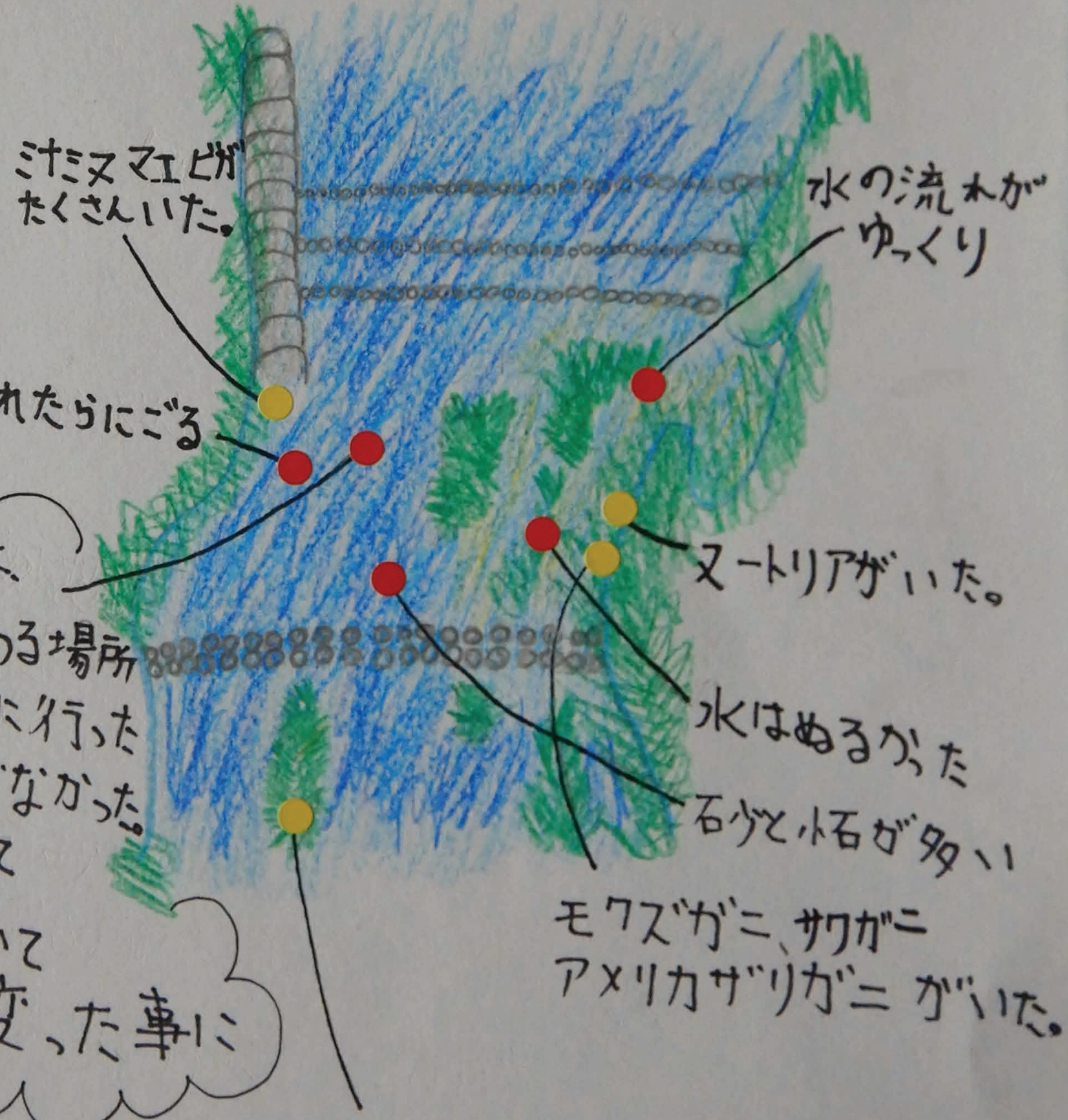


# ① 多治見市昭和町付近 (笠原川の河口 土岐川との合流地帯)

何回目	調査日	時間	天気	気温
1回目	7月25日(月)	14時	晴れ ☀️	36°C
2回目	8月21日(日)	13時	晴れ ☀️	31.9°C

この場所は昭和40年~平成5年に工事をしています。

● このマークは川の様子    ● このマークは生き物について



## ※ 注目

調査日1回目の時は、わたしの肩まで水位がある場所があったけど、2回目に行った時は、その場所がなかった。2日前に大雨が降って、石少やじゃりが重かいて川のそこの形が変わった事に気付いた。



↑ この魚はオイカワ

水がきれいで、目の前をたくさんの魚が泳いでいるのが見えました。動きが速くてつかまえられなくてくやしかったです。

アオサキ  
チュウダイサキがいた。



## ハゼのなかま



食べられるよ

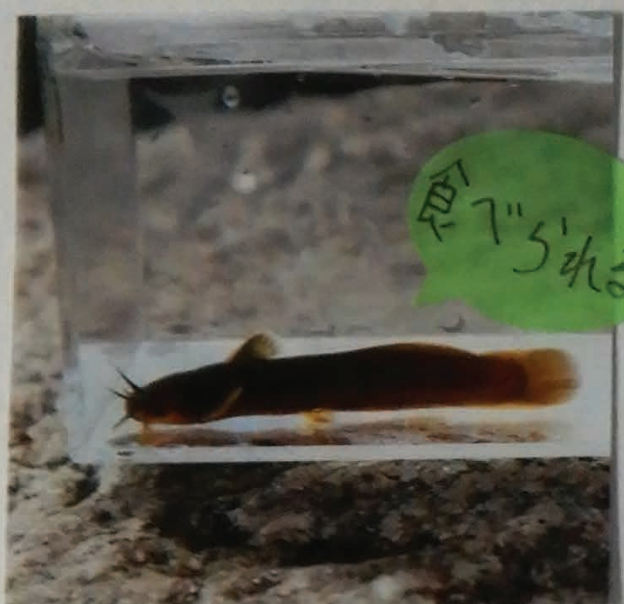
## カワヨシノボリ ♂

- ・ハゼ科
- ・体長 - 5cm ~ 10cm
- ・住んでいる所 - 流れのゆるやかな河川、底石などにくっついている。
- ・エサ - ざら食
- ・とくちょう
- 春から夏はメスがさんらんしてオスがたまごを守る
- ・オス・メスの見分け方
- オス - 前と後のせびれの形がちがう
- メス - 前と後のせびれの形が同じ

♀



## ナマズのなかま



食べられるよ

## アカザ

## 絶めつきぐ種Ⅱ類

- ・アカザ科
- ・体長 - 11cm
- ・住んでいる所 - 底石のすき間などにかくれて、夜になると活動する。
- ・エサ - 水生昆虫
- ・とくちょう
- 多治見では、赤い色をしていて、はちのようにさすことから アカバチ、庭に  
いるからネバチとよばれている。口の上アゴと下アゴに  
合計8本のヒゲがある。ヒレのトゲにはどくえきを持っているので  
さされるとかなりいたいので十分注意する。

## ドジョウのなかま



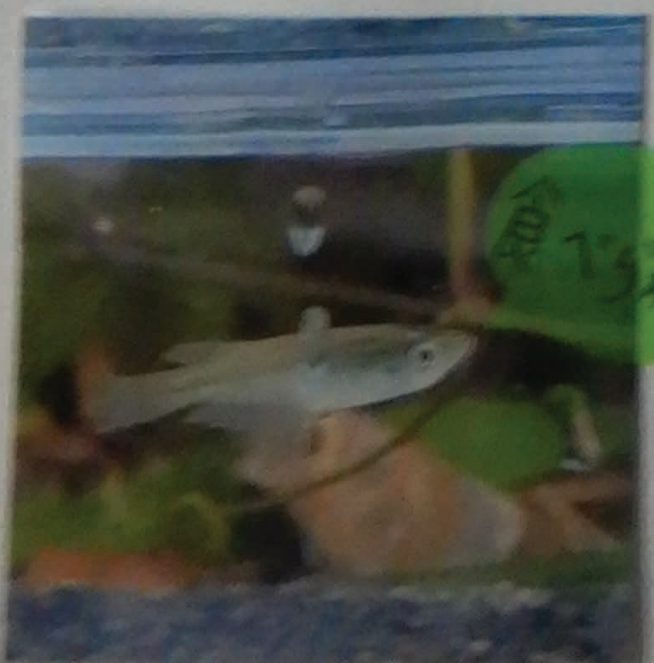
食べられるよ

## ドジョウ

## 絶めつきぐ種

- ・ドジョウ科
- ・体長 - やく15cm
- ・住んでいる場所 - 水田、川、用水路、池のどろのそこなど
- ・とくちょう
- 体は細長く体をくねらせて泳ぐ、口のまわりにひげが  
ありひげでふれることで味を覚えることができる？  
エラだけでなく、ちゅうでもこきゅうできる。

## メダカのなかま



食べられるよ

## メダカ

## 絶めつきぐ種

- ・メダカ科
- ・体長 - やく3cm
- ・住んでいる場所 - 小川、池、水田、用水路
- ・とくちょう
- 身近にいてとても有名な魚。やく550品種が  
放にんされている。

## コいのなかま



食べられるよ

## アブラハヤ

- ・コイ科
- ・体長 - 12cm
- ・住んでいる所 - 川の上流、砂れきていや川岸の下
- ・エサ - ざら食
- ・とくちょう  
オイカワなどに比べてウロコがヌルヌルしていることからその名前が付けられた。体に黒い帯がある。

## カワムツ



食べられるよ

- ・コイ科
- ・体長 - 45mm
- ・住んでいる所 - 岩のあいだや水面にはりだした植物の下などにかくれる。
- ・エサ - ざら食
- ・とくちょう  
オイカワとの見分け方は①顔が丸い②体そくにたてに黒い帯がある③ウロコがはっきりしている④おなかが出ていて少し太めに見える。

## 水鳥のなかま



## アオサギ

- ・サギ科
- ・体長 - 84 ~ 100cm、つばさ 1.6m ~ 2m
- ・住んでいる所 - 河川、ぬま、海、のう地
- ・エサ - 動物食、魚や両生類、はちゅうるい、こうかくるい  
小鳥
- ・とくちょう  
サギの仲間としては最大です。とんでいる時は首をZ字に曲げる羽羽根のかわかし方がドジョウすくいみたいで"おもしろい"



## チュウダイサギ



- ・サギ科
- ・体長 - 80cm ~ 100cm、つばさ 1.3 ~ 1.7m
- ・住んでいる所 - 水田や川(冬は南へ行く)
- ・エサ - 肉食
- ・とくちょう  
チュウダイサギはダイサギより小さくて足が黒いわたりどりですが写真のチュウダイサギは、ケガをしているので数年多治見に住んでいる。

トノボ  
エゾトノボのながま



## ダビドサナエのよう虫(ヤゴ)

- ・サナエトノボ科
- ・とくちょう  
岸に近い石の下や砂にあかもぐって生活している。

## オナガサナエのよう虫(ヤゴ)



- ・サナエトノボ科
- ・体長-27~30mm
- ・住んでいる場所-流れの早い石の下やそのまわりのすなや小石にもぐっている。
- ・エサ-肉食、共食いもする
- ・とくちょう  
ガッシリとした体つきで、角がしゃもじのような形になっている。

## コヤマトノボのよう虫(ヤゴ)



- ・体長-26~31mm
- ・エサ-肉食、共食いもします
- ・とくちょう  
大がたヤゴで、あしが長くゆっくりは、ていどうしクモのように見える。  
ウチワのように平らで丸い。

ヤンマ  
オニヤンマのながま



## コシボソヤンマのよう虫(ヤゴ)

- ・ヤンマ科
- ・体長40~44mm
- ・とくちょう  
川岸の植物や川ぞいの葉っぱや石につかまって生活している。

カワトンボ  
イトトンボのなかま



## ハグロトンボのよう虫(ヤゴ)

- カワトンボ科
- 体長 - 22 ~ 27 mm
- 住んでいる所 - 河川
- エサ - 肉食
- とくちょう  
はらの先にろまいの長いえらがある  
長いしゃく、角と、あし、しっぽのマダラもようが  
とくちょう

トビケラのなかま



## ヒゲナガカワトビケラのよう虫

- ヒゲナガカワトビケラ科
- 体長 30 ~ 40 mm
- 住んでいる所 - きれいな河川
- エサ - 落葉や、コウ
- とくちょう  
とくちょうはイモムシみたいな形、成虫はガのようです。  
石や石く、落葉などで巣を作る。巣は持ち運ぶできるタイプと、できないタイプがある。巣はとても美しい

アメンボ、タイコウチ  
タガメのなかま



## オオアメンボ

- アメンボ科
- 体長 - 17 ~ 27 mm
- 住んでいる所 - 流水のゆるやかな池や河川に生息
- エサ - 水面に落下した昆虫
- とくちょう  
日本最大のアメンボです。体が大きいだけでなく足も、覚が長くスマートです。ほかのアメンボに比べて体長がとても大きい

トンボ  
エゾトンボのなかま



## シオカラトンボ

- トンボ亜科
- 体長 - 49 ~ 60 mm
- 住んでいる所 - 山地 ~ 住たく地までさまざま
- エサ - 昆虫
- とくちょう  
成じゅくしたオスがシオカラトンボで水色  
成じゅくしたメスはムギワラトンボで茶色

カニ  
エビのなかま



## ミナヌマエビ

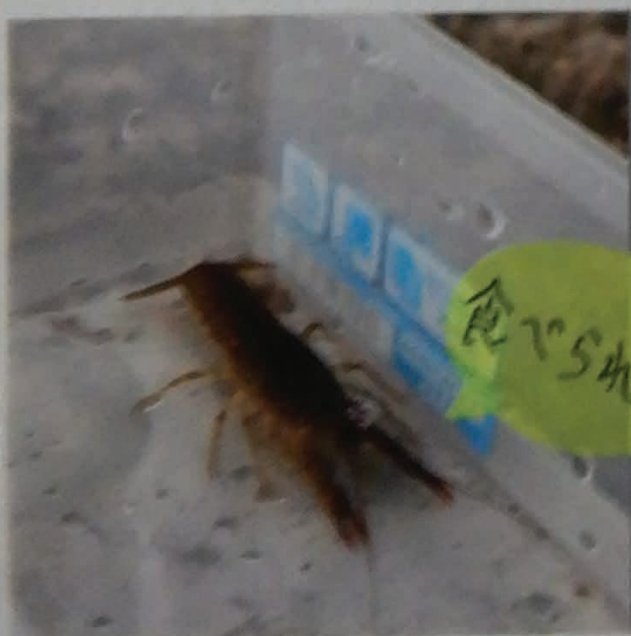
- ・ヌマエビ科
- ・体長-2~3cm
- ・住んでいる所-河川の流れがゆるやかな所  
水路や沼
- ・エサ-ざつ食
- ・とくちょう  
体色は半とうめい、メスはおなかに たまごがある  
黒色になる。



食でSれるよ

## モクズガニ

- ・イワガニ科
- ・体長-7~8cm
- ・住んでいる所-川
- ・エサ-ざつ食
- ・とくちょう  
カニとしては大がたでハサミの部分にこい毛が生えて  
いる。海で生まれ、川まで上ってた、皮をくり返し  
成長して、また海に下りさんらんする、食べるとおいしい



食でSれるよ

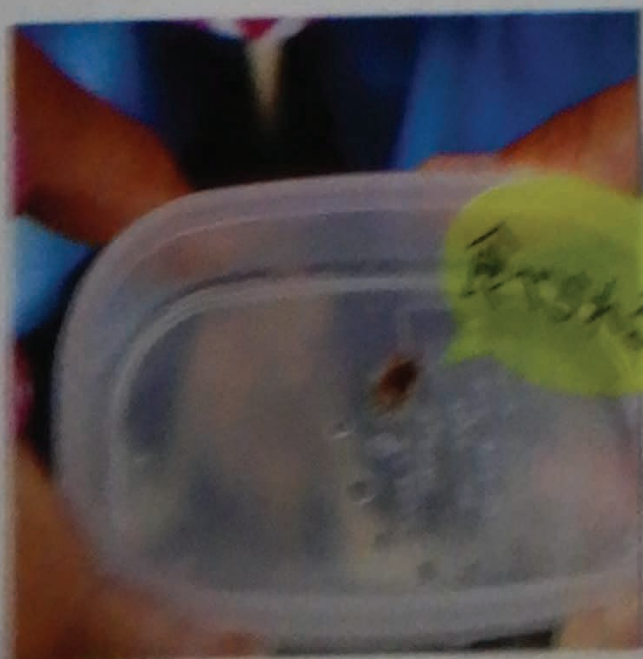
## アメリカザリガニ

- ・アメリカザリガニ科
- ・体長-やく 12cm
- ・住んでいる所-沼、池、水田、川
- ・エサ-子魚や水草など、なんでも食べる
- ・とくちょう  
子どもは茶色で小さめ、ニホンザリガニ とにている  
大人になるにつれて赤色になる

2020年から特定外来生物に指定された。

## サワガニ

本当はこの土場所にはサワガニが  
いないけど、大雨で流されてきた。



食でSれるよ



ほしにゅうま類のなま



イメージ写真

# コウモリの仲間

・小がたほしにゅうま類の仲間(鳥の仲間ではない)

・とくちょう

日本では昔から家を守る「ヤモリ」、井戸を守る「イモリ」、川を守る「かはもり」→「コウモリ」と伝えられている。

多治見では2016年時点では

6しか類いる。



イメージ写真

# ヌートリア

特定外来生物

・ヌートリア科

・体長40~60cm

・住んでいる所-川の土手や水面に巣を作る

・エサ-草食

・とくちょう

ネズミでカヒパラににている。単戦争で毛皮をさい取する目的でゆ入され野生化した。はんしよく力はひじょうに強く食よくがおうせい。

カイ、ハマグリなどのなま



食でさめる

# マシジミ

・シジミ科

・体長-やく35mm

・住んでいる所-河川

・エサ-び生物やプランクトン

・とくちょう

日本に生息しているシジミはヤマトシジミ、セタシジミ

マシジミの3種です。化学ひ米斗や農薬のえいきょう

河川かいしゅう、農地 整びのかんきょう 変化で姿を

消している。

不明です



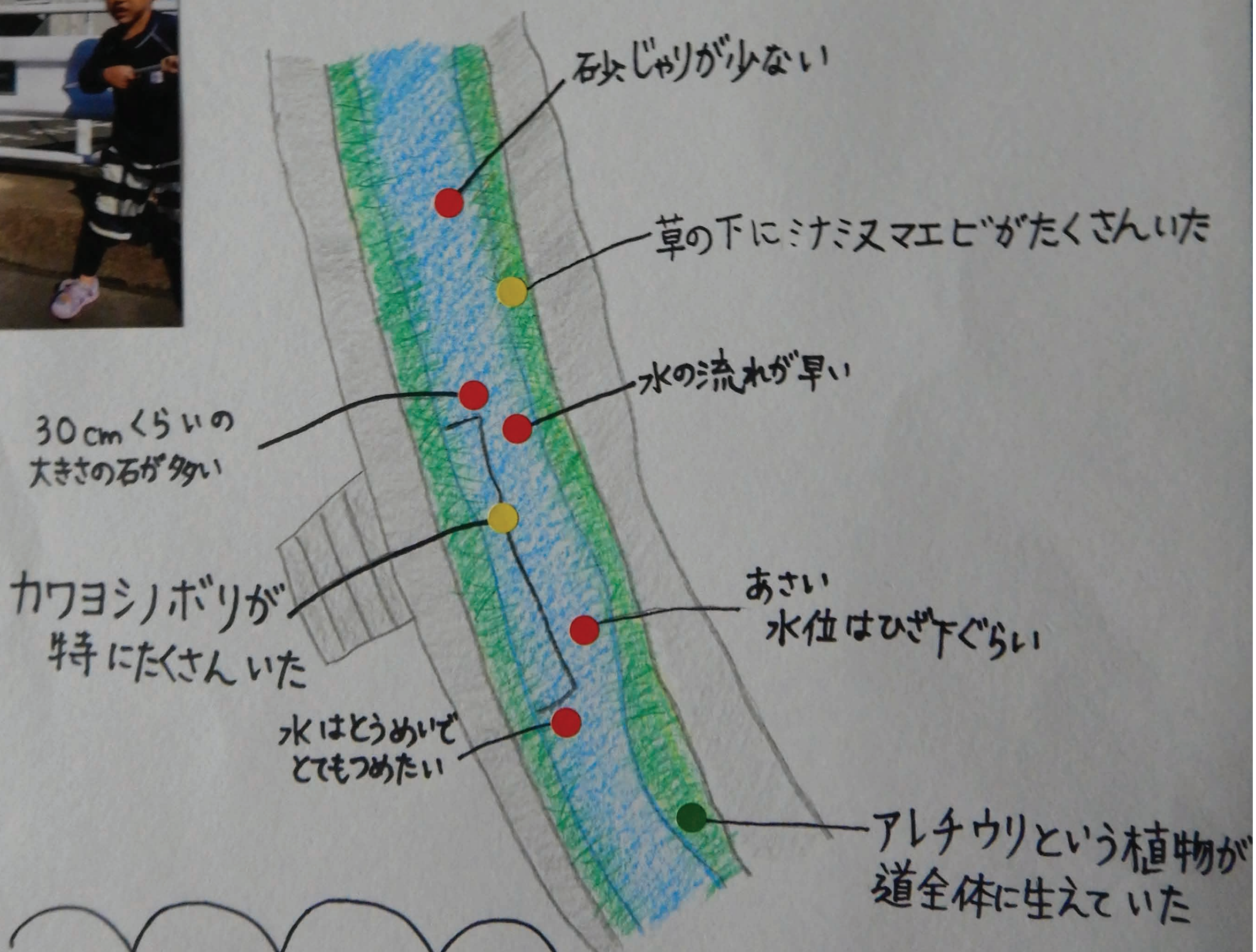
# ② 多治見市京町付近

何回目	調査日	時間	天気	気温
1回目	7月31日(日)	14時半	晴れ☀️	36.6℃
2回目	8月20日(土)	8時半	くもり☁️	31.1℃



この土場所は昭和40年～平成5年に川のエ事をしています。

●このマークは川の様子 ●このマークは、生き物について ●このマークは植物について



## ※注目

4つの川の中で1番整備されていました。  
流れが早くて10cmの石を川に落してみたら、ゴロゴロと  
下流に流れていきました。

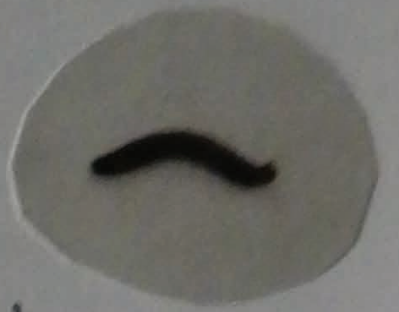


## ガガンボのなかま



## ガガンボの仲間

- ・ガガンボ科
  - ・体長 - 3~4cm
  - ・住んでいる所 - 水の中にいるものと土の中にいるものとさまざま
  - ・エサ - 草むらや植物の根
  - ・とくちょう
- よ虫は足がなくて前後がわかりにくい  
つじょうのこきゅうきがついている方が後



## カメムシのなかま



## カメムシの仲間

- ・カメムシ科
  - ・エサ - 草食
- アリチウリで交びをしている。

※ 1度説明した生き物は

2回目から写真のみはりました。

ハゼのなかま



カワヨシノボリのたまご



カワヨシノボリ

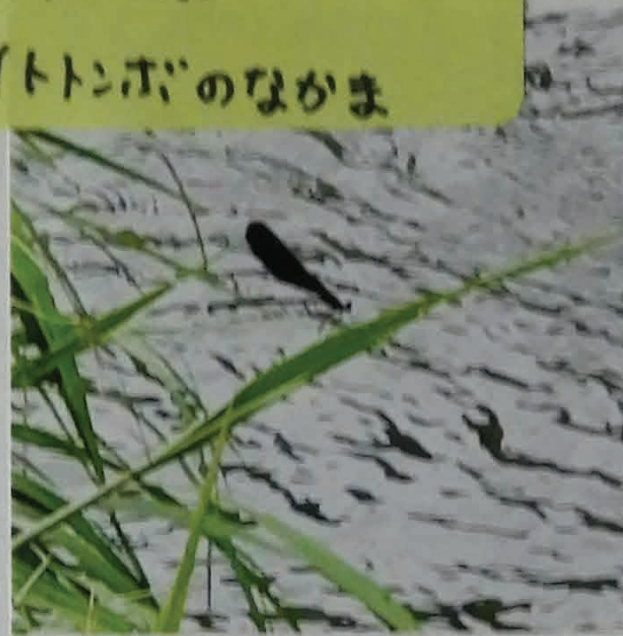
コイのなかま



アブラハヤ

カワトンボ

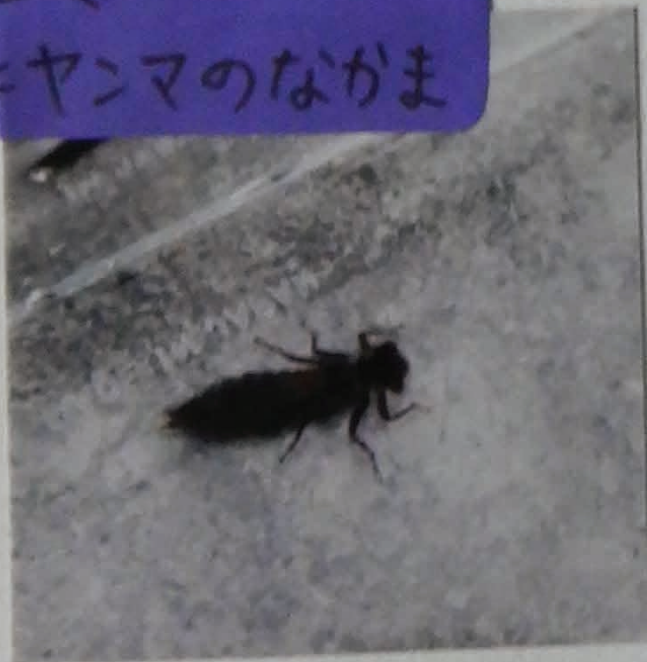
イトトンボのなかま



ハグロトンボ

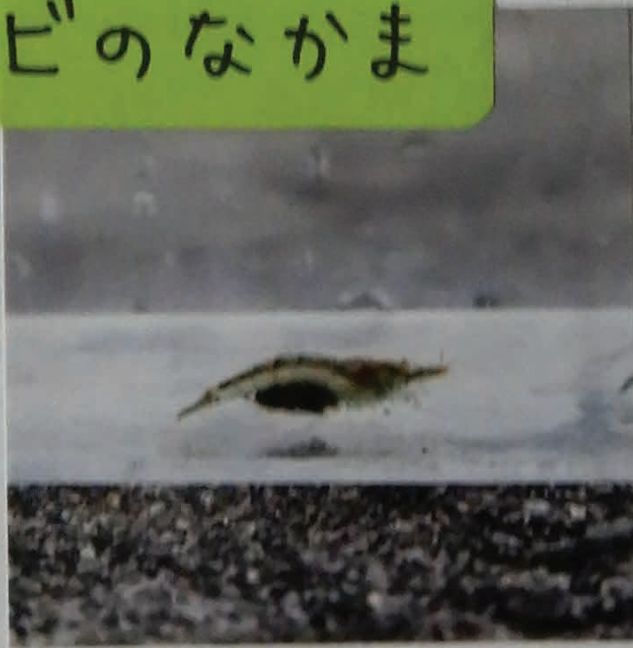
ヤンマ

オヤンマのなかま



コシボソヤンマ(ヤゴ)

エビのなかま



ミナミヌマエビ

水鳥のなかま



チュウダイサギ

# カワヨシノボリのたまご について補足

①なわばりをつくり石の下にあなをほる。石少や石は口で一つ一つはこい。

②ほったあなの石の下にメスがひっくりかえってたまごをうむ。

③たまごをうんだらメスはどこかへいく。オスはたまごのせわをしたりする。



# ③ 多治見市大洞町付近

何回目	調査日	時間	天気	気温
1回目	8月2日(火)	17時	晴天☀️	37.9℃
2回目	8月20日(土)	10時半	くもり☁️	31.1℃

この場所は平成14年～平成28年に川の工事をしています。

●このマークは川の様子 ●このマークは生き物について



## ※注目

大洞川と笠原川の合流地点  
大洞川はどろがすごく多い  
ハグロトンボがやく15匹いた2匹ずつペアでいた。  
笠原川とは全く様子がちがう

2回目に行った時オニヤンマがたくさん見ました



トンボ  
エゾトンボのながま



## オジロサナエのよう虫 (ヤゴ)

- ・サナエトンボ科
- ・体長17~21mm
- ・住んでいる場所 - 川の上流
- ・エサ - 肉食
- ・とくちょう

よう虫は 流されて中下流で見られる  
岸に近い砂にあさくもぐっている。

ムカシトンボ  
サナエトンボのながま



## コオニヤンマのよう虫 (ヤゴ)

- ・サナエトンボ科
- ・体長 - 30~35mm
- ・住んでいる場所 - 石の下や川の流が早い植物の根ぎわにいる。
- ・エサ - 肉食、共食い
- ・とくちょう

体はひらたく、かれ葉のまねをしている。

カワトンボ  
イトトンボのながま



## マユタテアカネ

- ・トンボ科
  - ・体長3~4cm
  - ・とくちょう
- おでこの上にまゆを立てているように見える点が2つ  
あるので名前がつけられた。  
メスは体が茶色で羽の根の先が黒いオスとメス  
まるで別のトンボみたい。

## アジアイトトンボ

- ・イトトンボ科
  - ・体長 - やく3cm
  - ・とくちょう
- オスはふく部が黄緑で、ふく部第9節が青色  
メスはふく部がくらい緑色です。

多シ台見ではふ通に見れるトンボ



## スズメガのなかま



スズメガ

## セスジスズメのよう虫

- ・スズメガ科
- ・体長 - やく8cm
- ・とくちょう

体は黒く黄色と赤色のもようがは手で目立っている

## ハナムグリのなかま



ハナムグリ

## コアオハナムグリ

- ・コガネムシ科
- ・体長 - 10~15mm
- ・とくちょう

体のせ中は緑色で白い点々がいら、はいある

日本ではよく見られるコガネムシ

## ゲンゴロウ、ガムシのなかま



## コシマゲンゴロウ

- ・ゲンゴロウ科
- ・体長 9~11mm
- ・とくちょう

黒色の体に黄色のたてのすじがある。

## クモのなかま



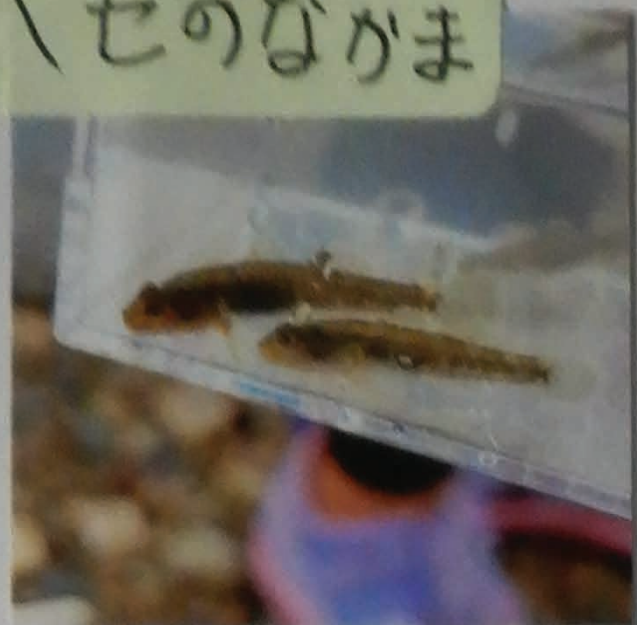
## ナガコガネグモ

- ・コガネグモ科
- ・体長 - 18~25mm
- ・とくちょう

せなかは黄色で白い毛がある。おなかは、だ円形で前は平らで後少しとがっている。長い足は、とげがまばらにある。

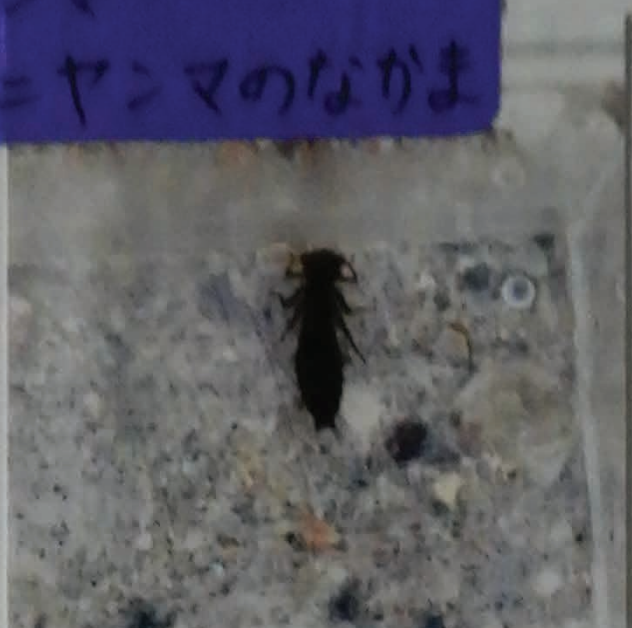


ハゼのなかま



カワヨシノボリ

ヤンマ  
オニヤンマのなかま



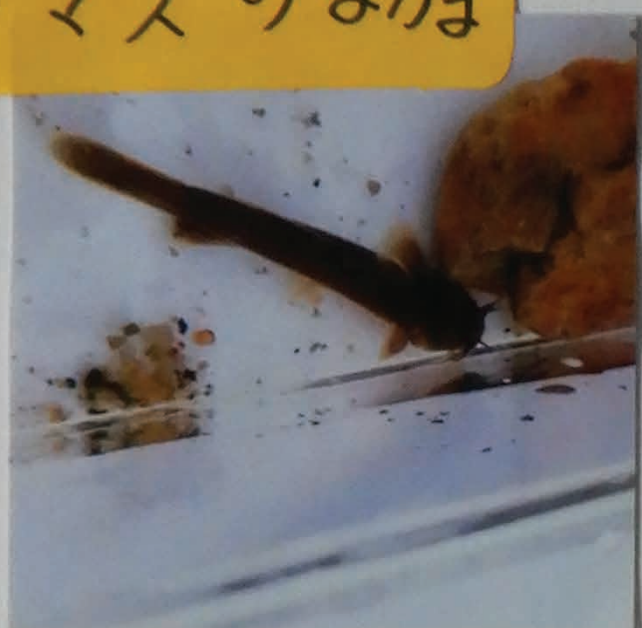
コシボソヤンマ(ヤゴ)

エビのなかま



ミナミヌマエビ

ナマズのなかま



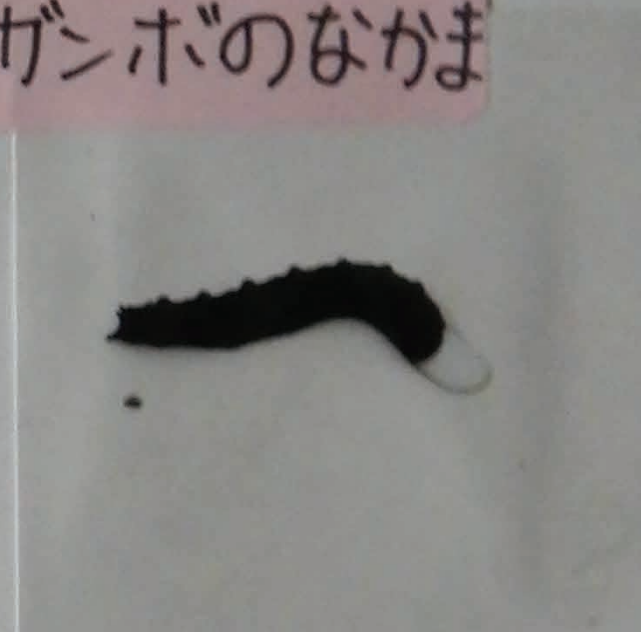
アカザ

トビケラのなかま



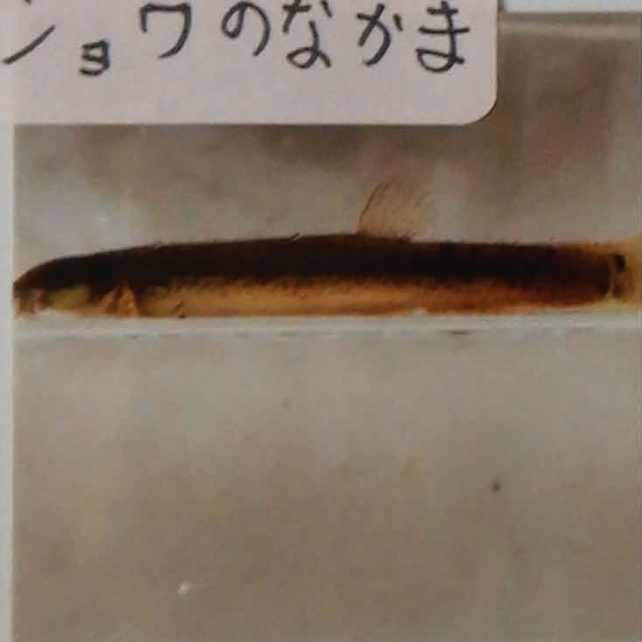
ヒゲナガカワトビケラ

ガガンボのなかま



ガガンボの仲間

ドジョウのなかま



ドジョウ

アメンボ、タイコウチ  
タガメのなかま



オアメンボ

トンボ  
エゾトンボのなかま



オナガサナエ

トンボ  
エゾトンボのなかま



シオカラトンボ

※参考画像 偉ネトケウ

# ④ 多治見市たきろ町付近

何回目	調査日	時間	天気	気温
1回目	8月6日(土)	13時半	晴れ☀️	30.5℃
2回目	8月20日(土)	13時	くもり☁️	31.1℃

この土場戸所の工事は昭和40年より前なので不明。

●このマークは川の様子 ●このマークは生き物について

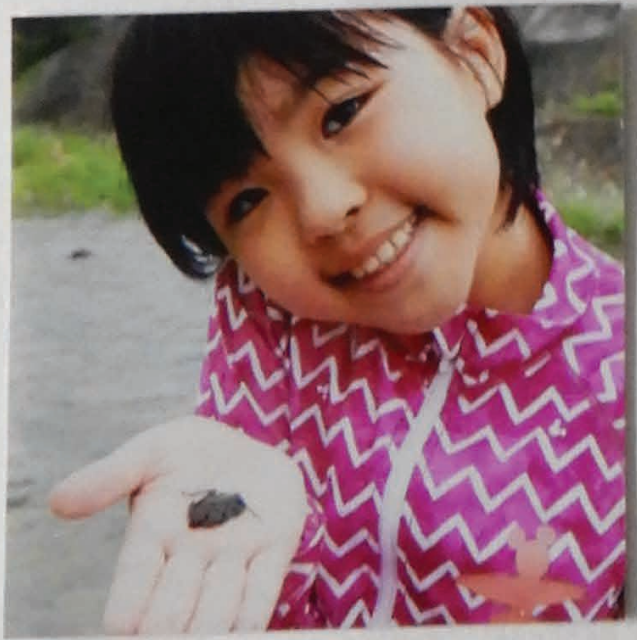


水位はひざ下でした

ここにもヤゴがたくさんいた



サワガニがいた



石の下や植物の根ぎわに  
コオニヤンマ  
ユヤマトンボのヤゴが  
いた。

石少がタがい

4つの川の中で1番水が  
つめたい

15cmぐらいの石がタがい

水の流りが早くて  
4つの川の中で1番

水がとうめい

川の横は家が並んで建っています

## ※ 注目①

1番上流で水がきれいだから  
ここで初めてサワガニがとれました

## ※ 注目②

巨大なヤゴ発見! サイズはやく4cm  
この場所は大きなヤゴがたくさんいました

## コイのなかま



## カマツカ

- コイ科
- 体長 20cm
- 住んでいる所 - 流れのゆるやかな砂そこ
- エサ - ざ食
- とくちょう  
一口に一寸のヒゲがある。上から見ると黄土色のせみみに黒く太いシマがある。頭が大きい。口が下向きについていて、そのエサが食べやすい。

## カワトンボ イトトンボのなかま



## ニホンカワトンボのよう虫(ヤゴ)

- カワトンボ科
- 体長 21~24mm
- 住んでいる所 - 流れのゆるやかな河川
- エサ - 肉食、共食いもする
- とくちょう  
アサヒナカワトンボのヤゴにとともにしている。  
オスは、とう月のハネのみたが  
メスは、おうど色とむ色ハネの2タイプがいる。

## カニ エビのなかま



## サワガニ

- サワガニ科
- 体長 - 2~3cm
- 住んでいる所 - 川の上流
- とくちょう  
一生たん水いきまで過す。日中は、石の下にいて、夜になると重かきたす。

## ミミズ

- とくちょう  
目がなく、手足もないひもみたいです。  
名前は「目見えず」という言葉が→××ズになり→ミミズになったとも言われている。



ハゼのなかま



カワヨシノボリ

ムカシトンボ  
サナエトンボのなかま



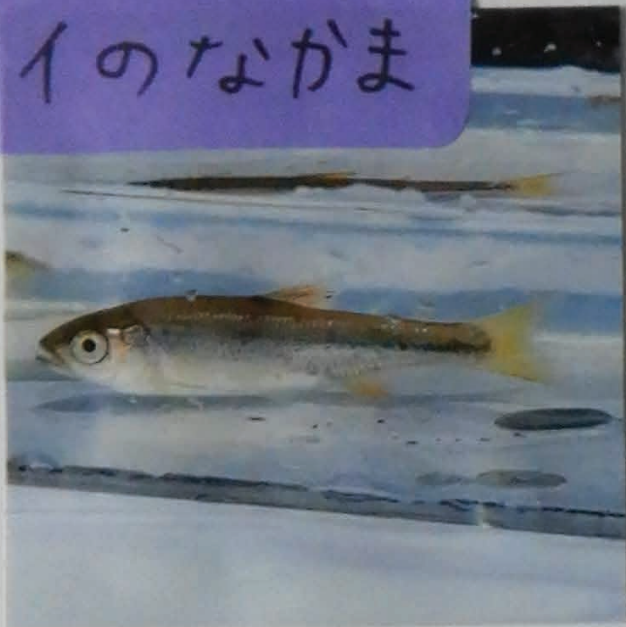
コオニヤンマ(ヤゴ)

ゲンゴロウ  
ガムシのなかま



コシマゲンゴロウ

コイのなかま



カワムツ

ヤンマ  
オニヤンマのなかま



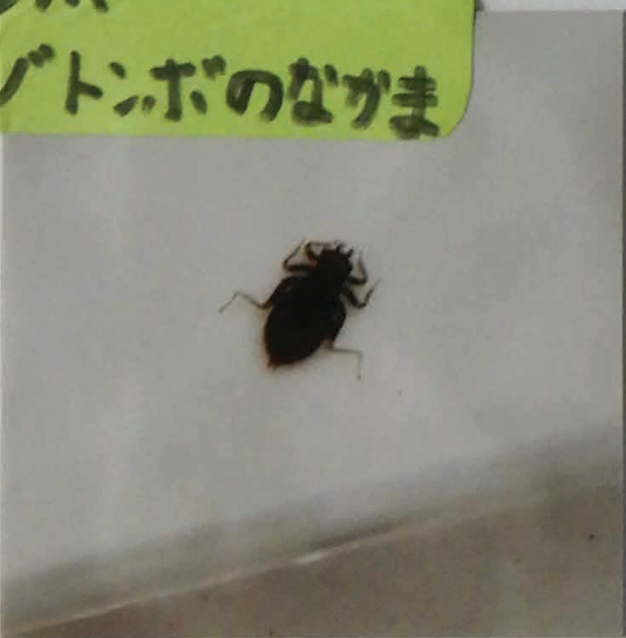
コシボソヤンマ(ヤゴ)

カワトンボ  
イトトンボのなかま



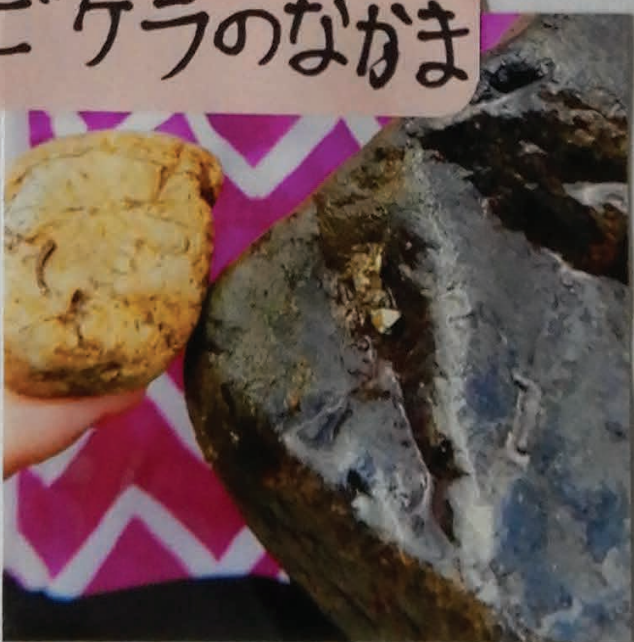
ハグロトンボ

トンボ  
エゾトンボのなかま



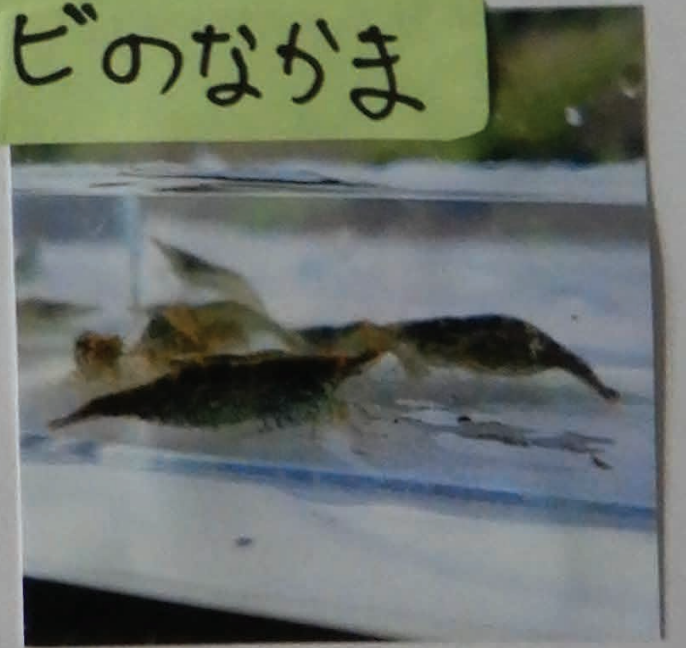
ダビッドサナエ(ヤゴ)

トビケラのなかま



ヒゲナガカワトビケラ

エビのなかま

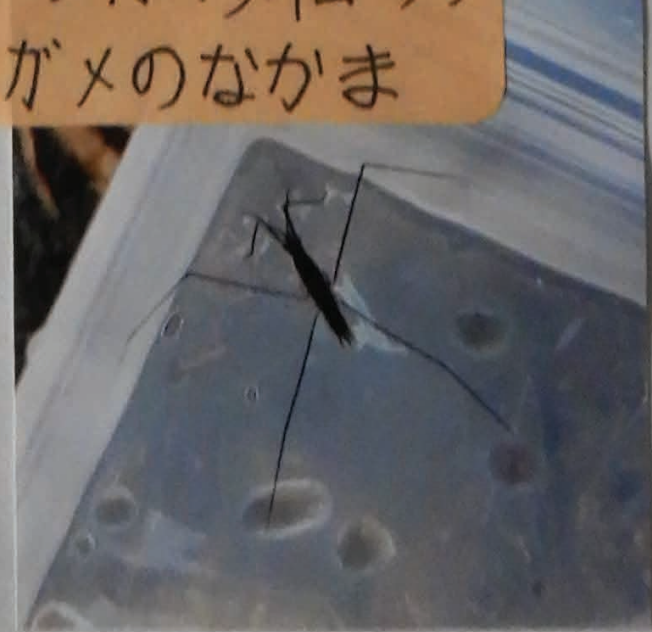


ミナミヌマエビ



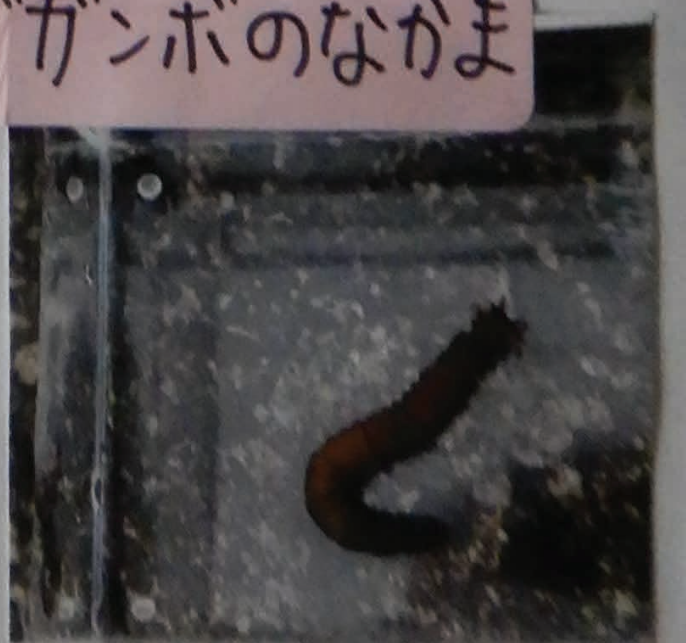
コヤマトンボ(ヤゴ)

アメンボ、タイコウチ  
タガメのなかま



オオアメンボ

ガガンボのなかま



ガガンボのなかま



● やく48.5km

### モクズガニについて補足

このカニは海から来たと教えてもらいました。  
でも岐阜県には海がないので、不思議に思い言調べました。  
カニの歩いてきたきょりは、愛知県の河ロから笠原川まで  
やく48.5kmでした。

すごい!とおどろきました。

カニの歩くスピードは、おそいし道は真、直ぐではないから  
がんばって多治見まで来てくれたと思うと感動しました。

いつか愛知県の河ロから庄内川～笠原川まで  
歩いてみたいで"す。



# まとめ



上流と下流で住んでいる生物がちがっている  
ことを発見できました。うれしかったです。

特に川のきれいな所にしかない  
サワガニをみつけた時は感動でした。

季節や雨でも川の本葉子がどんどん変わることも  
分かりました。

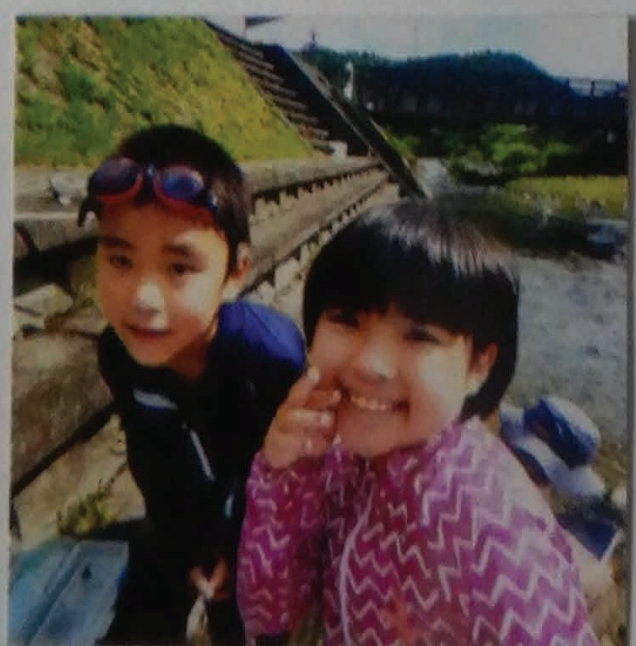
7月25日に調査した時には見れなかった

トンボのさんらんが8月21日にはたくさん見れました。

私はもっと魚、水生こん虫、鳥、虫などが  
大好きになりました。

次は、笠原川のもっと上流を調査したいです。

(表紙のちぎり絵は、ながま分けしたおり紙を使い  
同じ川でたくさんの生き物がいっしょにくらしている様子を  
表現しました。)



# 生物の数を数えました

(数えた生物だけ書きました)

## ② 多治見市京町付近

- ・カワヨシノボリ 33匹
- ・コシボツヤンマのヤゴ 1匹
- ・ガガンボの仲間 1匹
- ・アブラハヤ 2匹
- ・ミナミヌマエビ 6匹

## ③ 多治見市大畑町付近

- ・カワヨシノボリ 90匹
- ・コシボツヤンマのヤゴ 5匹
- ・どじょう 1匹
- ・オナガサナエのヤゴ 7匹

## ④ 多治見市たきろ町付近

- ・コオニヤンマのヤゴ 3匹
- ・コシボツヤンマのヤゴ 1匹
- ・サワガニ 3匹
- ・コヤマトンボのヤゴ 3匹

◎ 生き物の名前や特ちょうを教えてくださいました。

土岐川観覧館 山本真行さん、富田増男さん

多治見昆虫会 荒木裕之さん、横井洋文さん

多治見植物の会 深谷滋浩さん

◎ 川についてしつ問しました。

多治見市役所 一道路各河川課

多治見総合庁舎 一河川砂防課

土岐川出張所

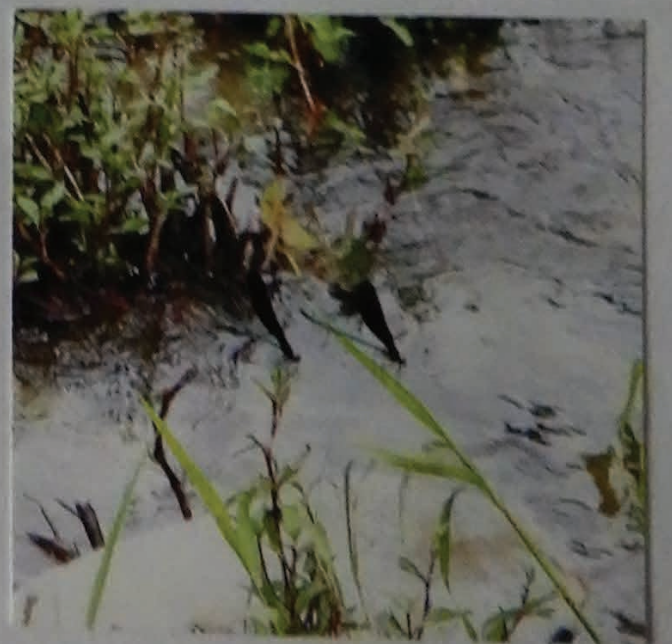
◎ 参考文献

たじみの自然 2021 book

小学食官の図鑑 NEO 水の生物

講談社の動く図鑑 MOVE 魚

講談社の動く図鑑 MOVE 昆虫



ありがとうございました